

「第54回日本緑化工学会大会」案内（9月15日版）

第54回日本緑化工学会大会運営委員長
築瀬 知史

第54回日本緑化工学会大会を下記のとおり開催します。多数の皆様のご参加をお待ちしています。なお、本大会の「大会参加」、「現地見学会」、「公開シンポジウム」は、森林・自然環境技術者教育会（JAFEE）の森林分野 CPD（技術者継続教育）の履修実績として申請することができます。森林分野 CPD は建設系 CPD 協議会と連携しています。

1. 大会概要

(1) 日程

2023年9月20日（水）

09:00～17:00	大会受付（201A・B会議室前）
09:30～17:00	資材・工法展示，ポスター展示
09:30～11:00	研究集会（1）（2）
11:15～12:45	評議員会
13:00～14:15	口頭発表（1）（2）
14:30～16:00	研究集会（3）（4）
16:15～17:45	研究集会（5）（6）

2023年9月21日（木）

09:00～15:00	大会受付（302会議室前）
09:00～16:00	資材・工法展示，ポスター展示
09:30～11:00	口頭発表（3）
11:15～12:15	ポスター発表コアタイム（論文，技術報告，研究交流発表会）
13:00～14:00	総会・閉会式（挨拶・優秀ポスター賞表彰式）
14:30～16:45	公開シンポジウム「新潟の海岸から学ぶグリーンインフラ」
17:00～19:00	懇親会（ホテル日航新潟）開会 17:15 新潟駅行バス時刻 18時13分,31分,46分 19時01分,13分,41分

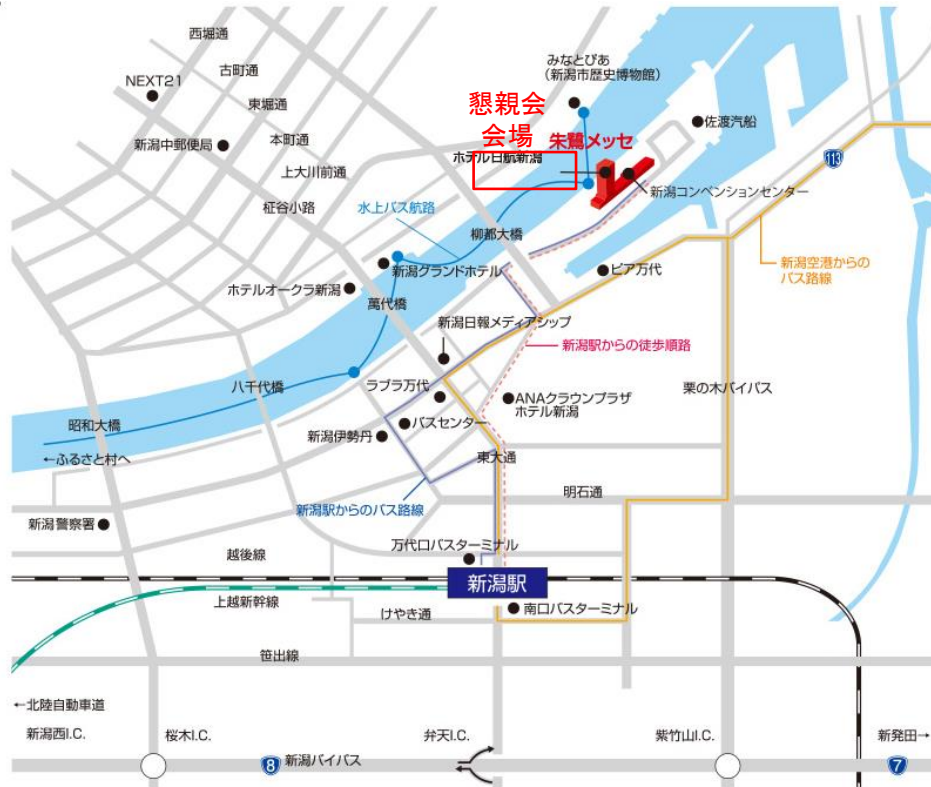
2023年9月22日（金）

08:45	現地見学会集合（新潟駅南口）
09:00～15:00	柏崎市松波，新潟市青山の海岸視察
15:00	現地見学会解散（新潟駅）

(2) 会場（理事会・現地見学会・懇親会を除く）

朱鷺メッセ（新潟コンベンションセンター）

（新潟県新潟市中央区万代島 6-1，新潟駅から徒歩約 20 分）



2. 参加費・参加申込方法

学会 HP の「大会用申込フォーム」（グーグルフォーム）からお申し込みください。

本フォームへの入力と参加費の振り込みを以て、本大会の申込が完了します。

参加費、懇親会費は、前納振込でお願いします。2023 年 9 月 15 日以降に振り込まれた場合、領収書の発行が 9 月 25 日以降となりますので、ご注意ください。

（前納割引は 2023 年 8 月 4 日で終了しました）

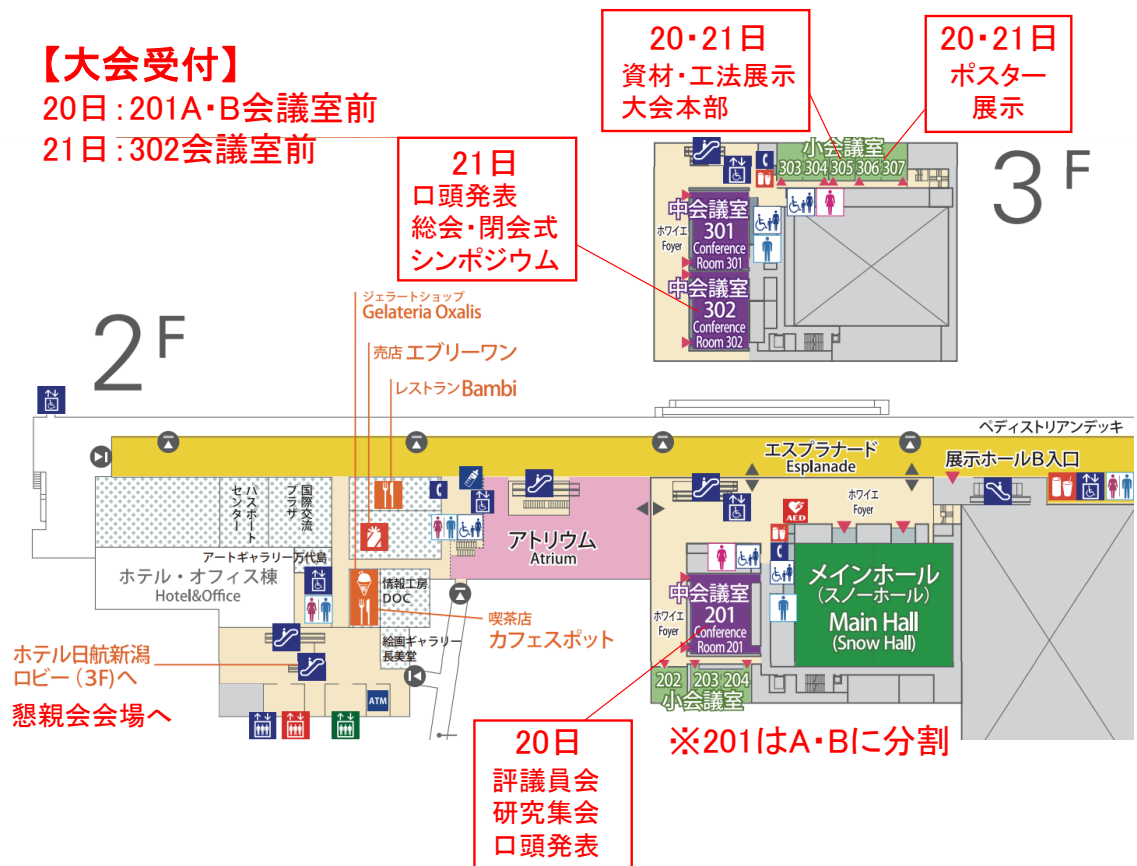
	会員			非会員	
	正会員	学生会員	一般	大学院生 学部生	高校生
大会参加	5,000 円	2,000 円	7,000 円	2,000 円	無料
懇親会	7,000 円	3,000 円	8,000 円	3,000 円	—
現地見学会	定員を超えたため、現在、募集していません				

※ 賛助会員の方は正会員と同等の条件でお申し込みいただけます。

3. 大会プログラム

	場所	9時				10時				11時				12時				13時				14時				15時				16時				17時			
		0	15	30	45	0	15	30	45	0	15	30	45	0	15	30	45	0	15	30	45	0	15	30	45	0	15	30	45	0	15	30	45	0	15	30	45
20日 (水)	201AB 会議室前	大会受付																																			
	201A	研究集会(1)				評議員会				口頭発表(1)				研究集会(3)				研究集会(5)																			
	202B	研究集会(2)								口頭発表(2)				研究集会(4)				研究集会(6)																			
	305	資材・工法展示、大会本部																																			
	306・307	ポスター展示																																			

	場所	9時				10時				11時				12時				13時				14時				15時				16時				17時				18時			
		0	15	30	45	0	15	30	45	0	15	30	45	0	15	30	45	0	15	30	45	0	15	30	45	0	15	30	45	0	15	30	45	0	15	30	45				
21日 (木)	302 会議室前	大会受付																																							
	302	口頭発表(3)								総会・閉会式				シンポジウム																											
	305	資材・工法展示、大会本部																																							
	306・307	ポスター展示				コアタイム								ポスター展示																											
	ホテル日航																																	懇親会							



4. 研究発表会（論文・技術報告部門）

■論文・技術報告部門 口頭発表（1）

9月20日（水）13:00～14:15（発表12分，質疑応答3分）

◇会場：2階201A

No.	タイトル	著者	開始時刻
O-01-A	公園緑地における非在来樹種の実生発生及び管理作業との関係	小林徹哉・前中久行・大野朋子	13:00
O-02-T	小面積皆伐更新によるナラ枯れ被害の軽減と大径木におけるマスアタックの集中傾向	松本 薫	13:15
O-03-T	野洲川松林における3次元点群計測を活用したマツ類の個体の形状寸法計測	青柳一翼・矢嶋 準・森岡千恵・瀬口栄作・中嶋 聡・中尾浩康・加藤 薫・杉山智治	13:30
O-04-T	動物性繊維（羊毛）を活用した植生シートに関する基礎的研究	大西崇太・藤井紫生・柴原寛太・服部浩崇・寺崎寛章	13:45
O-05-T	メッシュシート被覆によるオオイタドリ の地下部生育抑制に関する調査	佐藤厚子・林 宏親	14:00

■論文・技術報告部門 口頭発表（2）

9月20日（水）13:00～14:15（発表12分，質疑応答3分）

◇会場：2階201B

No.	タイトル	著者	開始時刻
O-06-A	小学生時の自然体験とその後の環境意識の関係	駒ヶ嶺光・法理樹里・松下京平・深町加津枝	13:00
O-07-A	京都市鞍馬本町におけるコバノミツバツツジの潜在生育地の推定と柴資源としての利用可能性	田中慶太・深町加津枝	13:15
O-08-T	グリーンインフラや緑地の計画等に資する地表面データに関する調査研究	金 甫炫・松本 浩	13:30
O-09-T	日本全国での樹木による炭素固定量算出手法の開発	平林 聡	13:45
O-10-T	バイオ炭を植栽基盤に用いることによるCO ₂ 固定効果および緑化樹木の生育効果	大西竹志・石黒一弘・石栗太・飯塚和也・根津郁実	14:00

■論文・技術報告部門 口頭発表（3）

9月21日（木）9:30～11:00（発表12分，質疑応答3分）

◇会場：3階302

No.	タイトル	著者	開始時刻
O-11-A	海岸砂丘におけるカワラナデシコの表土中の埋土種子密度及び種子発芽能	大澤啓志・廣瀬文人	9:30
O-12-A	積雪寒冷地における表層崩壊地の植物の種多様性向上に貢献する環境要因の解明	山田夏希・森本淳子・中村太士	9:45
O-13-A	宮島の地域性に配慮した緑化斜面における緑化2年後までの成立植生	小宅由似・ファン クイン チ・小山克輝・河野遼人・紙本由佳理・中原・坪田美保・坪田博美	10:00
O-14-T	宮城県気仙沼市沿岸部における2011年地震および津波から10年間の海岸植物の消長の消長	中村華子	10:15
O-15-T	伊勢自動車道 エコロード30年の評価	夏目壽一・川西良宜	10:30
O-16-T	和歌山県孟子不動谷におけるゲンジボタルとヘイケボタルの発生時期と分布の違い	小林拓真・有本 智・中島敦司	10:45

■論文・技術報告部門 ポスターセッション／コアタイム 9月21日（木）11:15-12:15

各発表のコアタイム 発表番号が奇数：11:15-11:45(30分)，偶数11:45-12:15(30分)

◇会場：3階306-307

No.	タイトル	著者
P-01-A	シェアオフィスにおける植物プログラムの実施が勤務者の心理に与える長期的な影響	鎌田美希子・岩崎 寛
P-02-A	日積算光量と踏圧がバミューダグラス (<i>Cynodon spp.</i>) に及ぼす影響	平野堯将・隅倉光博
P-03-A	温度条件および傷付け処理がチカラシバ (<i>Pennisetum alopecuroides</i> (L.) Spreng.) の発芽に及ぼす影響	濱田 碧・岸本大地・中島敦司
P-04-A	凍結融解履歴が植生工の侵食防止効果に与える影響を定量的に評価するための研究手法の検討	鍛冶元雅史・中村 大・渡部樹・川口貴之・川尻峻三・宗岡寿美
P-05-A	間伐後6～11年経過したスギ・ヒノキ林における間伐区と無間伐区の水平根補強強度	島田博匡
P-06-A	津波被災地における外来植物オオハマガヤ (<i>Ammophila breviligulata</i> Fern.) が海浜植物に与える影響	上田晋輔・岡 浩平・平吹喜彦・松島 肇
P-07-A	クサヨシ (<i>Phalaris arundinacea</i> L.) を利用した植生工の地盤補強効果に関する基礎的研究	宇高優介・中村 大・TUMURKHUYAG Zorigt・川口貴之・川尻峻三・宗岡寿美

P-08-T	瀬戸内海沿岸部の小規模海浜における打ち上げ帯の構成種の分布特性	山口侑希・岡 浩平
P-09-T	長野県根羽村における林間放牧後の植生変化	荒瀬輝夫・内川義行
P-10-T	釧路湿原における環状剥皮後のハンノキ林の変化	田崎冬記・川嶋啓太・青木菜々花・石田憲生・稲垣乃吾
P-11-T	南阿蘇における法面緑化への地域性系統のススキの導入	古野正章・伊津見和広・田中淳・内田泰三
P-12-T	林業専用道における切取法面の地質の違いが崩壊発生とその後の植生回復に及ぼす影響	寺本行芳・下川悦郎・江崎次夫・土居幹治・松本淳一
P-13-T	高知市種崎における海岸クロマツ林とその周辺の鳥類群集	楠瀬雄三・福井 亘
P-14-T	ワークプレイスとして国営昭和記念公園を利用した際の心理的効果に関する実証実験	梅原瑞幾・荒井菜穂美・田中希依・今井一隆・日下部友昭・岩崎 寛
P-15-T	フリーアドレスオフィスにおける植物設置の心理的効果検証	荒井菜穂美・梅原瑞幾・藤川淳・岩崎 寛
P-16-T	ウレタン製土壌改良材混入芝歩行時の足底圧に関する研究	星田遼太・長谷川啓示・高橋輝昌・岩崎 寛
P-17-T	特性不安傾向に着目したオフィスにおける個人デスクへの植物設置による心理的効果	岩崎 寛・矢羽田明照・中村純子・関根大樹
P-18-T	神奈川県藤沢市遊行寺の寺院境内の植物が来訪者に与える影響とその保全的価値	小島仁志・小谷幸司・石川さくら
P-19-T	モンゴル荒廃草原の緑化修復に向けた種子コーティング手法の開発と発芽促進効果の検証	服部 紘依・木村 圭一・Undarmaa Jamsran・大黒俊哉
P-20-T	景観保全型緑化工法を用いた火山性荒廃斜面の植生回復に伴う土砂流出抑制の長期的効果	武藤 惠・上條隆志・Luan Chunyang・小川泰浩・石森良房

5. 研究交流発表会

■研究交流発表会 ポスターセッション／コアタイム 9月21日(木) 11:15-12:15

各発表のコアタイム 発表番号が奇数：11:15-11:45(30分), 偶数 11:45-12:15(30分)

◇会場：3階 306-307

No.	タイトル	著者
P-21-R	生分解性資材を用いた早期緑化と自然との共生を図る環境配慮型緑化工法—作業安全性と環境負荷に配慮した自然回復緑化—	鈴木 翔・竹内健一
P-22-R	深層学習を用いた航空レーザ点群からの広葉樹単木抽出~高速道路脇植栽地の点検効率化に向けた試み~	本部星・于忠策・新名恭仁・山崎 慎一・廣永茂雄
P-23-R	雨滴衝撃がイネ科緑化植物の初期成長および定着に与える影響	武内千紘・柴田昌三・貫名涼・津田その子・南光一樹
P-24-R	根による土壌補強強度の樹種間比較	山瀬敬太郎・今若舞・大橋瑞江・池野英利・藤堂千景・檀浦正子・谷川東子・平野恭弘
P-25-R	i-Tree Eco を活用した街路樹配置の検討：生態系サービスの機能向上を目指して	江口則和・石岡完悟・小宅由似
P-26-R	雨庭への草本植物の侵入・定着状況	中原康成・福田都萌・張 林瀛・岡崎慎一郎・小宅由似

P-27-R	バイオマス活用のための油糧作物栽培試験について (その2)	松井爽・高橋英樹・増田俊二・品川武・中島雅之・極楽寺隼也・植野豊・小澤徹三
P-28-R	地震による表層崩壊後の緑化処理の評価ー植物機能形質に注目してー	本郷悠夏・中村太士・森本淳子
P-29-R	小笠原における南根腐病の被害拡大要因の解明ー近赤外分光分析の試行ー	古澤仁美・太田祐子・大川夏生・宮崎杏紀・樋口水紀
P-30-R	ネパール国カブレ郡での地域連携による森づくりーパナウティの Community Forest における実践例ー	小田幸子
P-31-R	水景施設を利用したカワヂシャ群落復元の試みー移植先の環境が生育に与える影響ー	織邊尚子・小林紀子・童阿瑪・北島信行・島多義彦
P-32-R	Long-term effects of mowing and trampling on both the growth and the weed-suppressing potential of	Bienvenu BIRAMAHIRE, Tadashi CHOSA
P-33-R	自由学園におけるスクールシンボル選定と候補種募集アンケート結果の分析	吉川慎平・小田幸子
P-34-R	林内微気象の傾向把握を目的とした複数地点での気温観測に関する検討	宮代雅章・吉川慎平・小田幸子
P-35-R	平成 30 年 7 月豪雨災害後の在来性種苗を用いた緑化による回復状況ー広島県宮島の例ー	坪田博美・ファン=クイン=チ・小山克輝・中村 創・本郷圭祐・長崎涼平・紙本由佳理・中原・坪田美保・河野遼人・小宅由似
P-36-R	北海道南部海岸付近の擁壁に成立した海崖植物群落の生育立地特性	村上健太郎・畑田昂大・佐藤斗満
P-37-R	森林小流域において UAV 写真測量により推定された積雪深の検討	小川泰浩・阿部俊夫・久保田多余子・延廣竜彦・村上亘
P-38-R	都市公園での花壇整備活動によるオフィスワークへの効果	鬼東大平・高橋竜一
P-39-R	在来種を適用した緑地における鳥類の誘致効果	北條紗也・秋田宏行・池田穰
P-40-R	川崎市生田緑地における地域性系統植栽の理念と現実	倉本 宣・磯谷達宏
P-41-R	富士スバルラインにおける施工 40 年後の種子なし厚層基材吹付工の効果	小野幸菜・小澤信彦・吉田 寛
P-42-R	兵庫県南部における社叢林の植生と種多様性に関する研究	任睿・高橋あかり・柏木圭太・石井弘明
P-43-R	沿岸部の風衝地における種子なし生育基盤と種子定着促進ネットを組み合わせた自然侵入促進工の初期植生推移	小澤信彦・後藤幸雄・吉田 寛
P-44-R	人工島に造成された森林の動態に関する研究	奥山颯大・石井弘明
P-45-R	マングローブ林における倒木及び稚樹の分布特性と植生活性度との関係	佐藤博紀・平中晴朗
P-46-R	海水浴場における飛砂対策を目的とした砂丘復元前後の植生と地形の変化	植野晴子・松島 肇・佐々木大樹・佐藤慎也・船橋秀樹・中村洸太・中田康隆
P-47-R	宮城県奥松島地域宮戸島の海岸側低地において津波に残存するタブノキの砂土地での根系の展開	広永勇三
P-48-R	シマトネリコ生立木における幹の通水阻害に関わる環境要因	小切壮仁・東若菜・石井弘明・黒田慶子

6. 公開シンポジウム「新潟の海岸から学ぶグリーンインフラ」

(1) 企画趣旨

日本緑化工学会では、これまでグリーンインフラについて議論する機会を設け、学会誌で特集を組むなど情報発信を行ってきました。我が国の代表的なグリーンインフラの例として、砂丘地で生育するクロマツの海岸林があげられます。クロマツ海岸林の植栽が始まったのは江戸時代にさかのぼります。しかし、近年はマツ材線虫病により、全国的にクロマツの純林で海岸林を維持していくことが難しいのが現状です。

このシンポジウムでは、飛砂が激しい新潟で海岸林のクロマツがどのような経過をたどって今に至っているか、また後から侵入してきた広葉樹について、地元で長年取り組んでこられた講師の方々に紹介していただきます。あわせて、海岸砂丘地に暮らす人々の知恵や飛砂抑制に活用される海浜植物の緑化技術についても紹介していただきます。最後に、総合討論としてクロマツ海岸林へ広葉樹侵入という変化がともなうグリーンインフラを我々はどのように維持管理していくのか意見交換の場にします。

(2) 開催概要

日時：2023年9月21日（木）14時30分～16時45分

場所：朱鷺メッセ 3階302

(3) プログラム

基調講演：人と自然が作り出した新潟砂丘の海岸林

紙谷智彦（新潟大学名誉教授）

話題提供1：広葉樹も活かす新潟海岸保安林の林相別管理指針

城向勇男（新潟県農林水産部治山課）

話題提供2：「砂丘のまち柏崎」の飛砂をいなす暮らしの知恵と都市計画

高橋深雪（柏崎市都市整備部都市計画課）

話題提供3：海岸飛砂地における在来植物を活用した新たな緑化の取り組み

今富有紀（グリーン産業株式会社）

総合討論：進行 吉崎真司（東京都市大学名誉教授）

パネラー：紙谷智彦，小林達明（千葉大学）

7. 現地見学会

(1) 概要

日本海に面する新潟の海岸では、強風による飛砂害が激しく、全国に先駆けて様々な対策が実施されています。砂浜では、飛砂の発生抑制や捕捉を目的とした海浜植物による緑化が進められています。海岸防災林では、従来のクロマツだけではなく、シロダモやタブノキなどの常緑広葉樹を活用する管理が進められています。現地見学会では、これらの事例を現場の担当者や研究者から解説していただきます。

(2) 実施日時：2023年9月22日（金）9:00～15:00

09:00 新潟駅南口出発

10:15～11:15 柏崎市松波視察（海岸クロマツ保安林の管理と有機質資材を用いた海浜

植物の緑化施工地)

解説：新潟県長岡地域振興局 農林振興部森林施設課，グリーン産業(株)

12:30～13:30 道の駅（昼食）

13:40～14:40 新潟市青山海岸視察（クロマツと広葉樹の混交林）

解説：紙谷智彦（新潟大学名誉教授）

15:00 新潟駅解散

8. 研究集会

(1) 研究集会 1

テーマ：OECM で生きる！生物のすみかとしての文化的緑地

日時：2023年9月20日（水）9:30～11:00

場所：201A

企画責任者：今西亜友美（近畿大学）

概要：社寺林、庭園といった文化遺産に付随する緑地は、文化的に重要なだけでなく、生物のすみかとしても価値があることがいくつかの研究で報告されている。このような文化的緑地の自然共生サイト認定は、管理者や利用者の意識を生物多様性保全に向かせたり、生物多様性保全に貢献する管理の持続性を高めたりする効果があると考えられる。本集会では、文化的緑地の管理者の自然共生サイト認定に関する意向、緑地の管理と生物多様性の関係、文化的価値と生物多様性保全に配慮した管理手法などについて議論したい。

(2) 研究集会 2

テーマ：i-Tree による生態系サービス評価・実務での活用事例と日本発の新規機能実装への展望

日時：2023年9月20日（水）9:30～11:00

場所：201B

企画責任者：平林 聡（アメリカ農務省フォレストサービス/The Davey Tree Expert Company）・加藤 顕（千葉大学）

概要：i-Tree Eco はアメリカ農務省が無償で提供する樹木による生態系サービスの総合的な評価ツールである。これまで日本では学术界がその主な利用者であったが、近年、実務での利用や教育分野での活用も始まっている。さらに i-Tree Eco やそれと互換性を持った U-GREEN に実装し得る新たな評価手法やモデル等の開発も行われ始めている。これら i-Tree Eco を取り巻く新しい動きを紹介し議論する。

(3) 研究集会 3

テーマ：ランドスケープの生態的レジリエンスを考える

日時：2023年9月20日（水）14:30～16:00

場所：201A

企画責任者：小林達明（千葉大学）・森本淳子（北海道大学）・岡 浩平（広島工業大学）

概要：2020年から緑地のレジリエンスをテーマに研究集会を開催してきた。今までは、個体

(単木)そして生態系(林分)スケールを対象に、津波や暴風に対する緑地のレジリエンスを紹介・議論してきた。今回は、ランドスケールレベルの緑地のレジリエンスをテーマに研究集会を開催する。

(4) 研究集会 4

テーマ：高強度の降雨に対応する斜面緑化を考える (II)

日時：2023年9月20日(水) 14:30~16:00

場所：201B

企画責任者：橘 隆一(東京農業大学)

概要：昨年の研究集会に引き続き、近年の豪雨災害の気象学的な実態や森林における降雨に対する土砂災害防止機能を再認識した上で、高強度の降雨に対応する緑化斜面として、植生とそれを支える植生基盤に期待される機能について具体的な事例を含めながら議論を進めていきたいと考えます。最終的には、今後より降雨強度が増していったときのそれぞれの機能の“限界性”についても検討したいと思います。

(5) 研究集会 5

テーマ：解説「生物多様性に配慮した緑化植物の取り扱い方に関するガイドライン 2023」

日時：2023年9月20日(水) 16:15~17:45

場所：201A

企画責任者：今西純一(大阪公立大学)

概要：緑化において地域の生物多様性に配慮することは益々重要になってきています。日本緑化工学会は2019年5月に「生物多様性保全のための緑化植物の取り扱い方に関する提言2019」を公表し、短期ビジョンとして「地域性系統の植物による緑化の推進」や「外来植物による緑化におけるリスク管理の実施」を挙げています。本研究集会では、これらのビジョンの実現に向けて本年5月に新たに公表された「生物多様性に配慮した緑化植物の取り扱い方に関するガイドライン2023」について解説します。

(6) 研究集会 6

テーマ：グリーンインフラ技術開発のための実証調査の紹介

日時：2023年9月20日(水) 16:15~17:45

場所：201B

企画責任者：手代木純・日下部友昭(公益財団法人 都市緑化機構)

概要：国土交通省では、グリーンインフラの普及に向け、民間の有する先駆的な緑化関連技術の確立と全国への普及展開することを目的とした、先駆的な緑化関連技術開発のための実証調査を令和4年度から実施しています。この集会では、実証調査全体の概要を紹介するとともに、採択された技術の実証調査結果を紹介します。

9. 昼食

会場周辺には、飲食施設が少ないため、必要な方は、昼食（飲物付）を1食1,000円にて提供いたしますので、9月1日迄に大会参加費とともに大会事務局宛振込を完了してください。

なお、既に参加費を振り込まれた方については、領収書番号（例：001㍶㍷）のみをメールでお知らせくださると幸いです。振込が未完了で申込み済の方は、日にちをメールでご連絡下さい。その際、フォームには記載しないようお願いいたします。

10. 資材・工法展示

日時：9月20日（水）9:30～17:00、9月21日（木）9:00～15:00

場所：3階305会議室

- (1) 資材・工法展示（1）：日本植生株式会社
- (2) 資材・工法展示（2）：グリーン産業株式会社
- (3) 資材・工法展示（3）：日本工営株式会社

11. 宿泊

会場周辺にはホテルは1件です。新潟駅周辺で確保することをお勧めします。

12. 託児施設に関すること

託児に関しては、受付を2023年7月28日に終了いたしました。

13. 会場までのアクセス

(1) バスの場合（約15分）

新潟駅→万代口バスターミナル3番乗場「佐渡汽船線」に乗車→「朱鷺メッセ」バス停下車



(2) 徒歩の場合 (約 20 分)



1 4. 大会運営委員会

委員長：築瀬 知史 (NEXCO 東日本) 副委員長：岩崎 寛 (千葉大)

口頭発表担当：岡 浩平 (広工大)

ポスター・研究交流発表・研究集会担当：岩崎 寛 (千葉大)

シンポジウム・現地見学会担当：岡 浩平 (広工大), 辻 盛生 (岩手県立大),
萩野 裕章 (森林総研東北), 今富 有紀 (グリーン産業)

広報担当：内田 泰三 (九産大), 中村 華子 (緑化工ラボ)

事務局・総務経理担当：築瀬 知史 (NEXCO 東日本)

【事務局連絡先】

〒950-0917 新潟市中央区天神 1-1 新潟プラーカ 3

東日本高速道路株式会社 新潟支社内

TEL : 025-241-5111 (代表)

E-Mail : ryokkakou2023@gmail.com